

■第65回 河川レンジャー制度運営委員会（2022.3.14）議事録

◆出席：中谷委員、北井委員、平山委員、辻委員、矢野委員

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
1. 開会	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末のお忙しいところ、ありがとうございます。定刻になりましたので、第65回河川レンジャー制度運営委員会を開催いたします。 ・私は、本日司会進行を務めさせていただきます、委員会事務局の中西と申します。よろしくお願いいたします。 ・本日の委員会でございますが、委員の皆様5人全員出席いただいております。委員会規約第8条第2項により、委員会の成立を報告いたします。 ・次に、お送りしました資料のご確認をお願いいたします。まず、委員会配布資料につきましては、議事次第、委員名簿がございます。本資料は、資料-1から資料-8までの8種類ございます。参考資料は6種類用意しております。説明に応じまして画面を共有しながら進めたいと思います。それから、根木山レンジャー、福西レンジャーの報告資料と事務局からの報告資料を別紙で用意してございます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
2. 委員紹介	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、出席委員のご紹介でございますけれども、お手元の委員名簿を確認ください。紹介は、この委員名簿をもって代えさせていただきます。それから、3名の河川レンジャーの皆様にご出席いただいております。 ・本日の議事ですけれども、議事次第にございます「報告」から「その他」まで執り行ってまいります。閉会は4時の予定でございます。閉会后、傍聴の方には退室いただきまして、委員の皆様はそのままお残りいただきまして意見交換会を予定しております。長時間にわたりますけれども、よろしくお願いいたします。 ・なお、発言でございますけれども、本日、別紙にて発言いただくまでの注意事項を書いたものをお送りしております。基本、マイクをミュートにさせていただきまして、中谷委員長より指名いただいた方はマイクを解除して発言いただき、その後またミュートにさせていただくというように進めていきたいと思っております。 ・それでは、これより中谷委員長に進行をお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。

(太字：

決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (1)2021年度 の年間実績	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、進めさせていただきます。 • まずは、委員の皆さん、ご出席ありがとうございます。そして、レンジャーさん、日々の活動を含め、ご苦労さまです。事務局もありがとうございます。お疲れさまです。 • では、65回の運営委員会を早速始めさせていただきますので、よろしくお願ひします。 • まず、報告事項といたしまして、2021年度の年間実績ということで事務局から説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、画面を共有しながら進めていきます。 • お手元の資料ー1「2021年度の年間実績」というものでございます。こちらは今年度の年間スケジュールを示してございまして、前回の第64回の会議で11月までの活動実態をご報告させていただきました。今回の会議では、11月以降の行事を主にご報告させていただきます。 • 11月は、制度運営委員会が1日にありましたのと、支援室では「瀬田川を歩こう！」の行事を開催しました。それから、12月は臨時の制度運営委員会を開催いたしました。1月は飛ばしまして、2月におきましては、琵琶湖河川レンジャーと琵琶湖河川事務所、守山市の意見交換会を15日に開催したのと、2月4日に河川レンジャーの勉強会を開催しました。3月におきましては、このたびの65回の委員会と、支援室としましては3月12日に「野洲川を歩こう！」のイベントを開催いたしました。 • 以上となっておりますが、また後の資料のほうでご紹介したいと思います。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • はい、説明ありがとうございました。 • 今、11月から後半の分を説明いただきました。その中にありますポイントの部分はまた後のほうで説明をいただけることになっていますので、これはこれとして次へ進めさせていただきます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (2)第64回・臨時開催 河川レンジャー制度運営委員会の議事要旨	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • では、事務局、次の64回の議事要旨についての説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、資料ー2でございます。第64回と臨時開催の河川レンジャー制度運営委員会の議事要旨となっております。 • こちらにつきましては、委員の皆様、レンジャーの皆様には既にご確認いただきまして確定しておりますので、主に決まったところだけかいつまんで説明させていただきます。

		<ul style="list-style-type: none"> ・第64回の運営委員会では、レンジャーの中間報告をいただき、それに対して委員の皆様からアドバイスをいただきました。また、新規レンジャーの審査もございまして、無事任命されたというところでございます。 ・臨時開催の制度運営委員会では、新規レンジャーの福西レンジャーの年間活動計画について審議いただきまして、活動計画を承認いただきました。 ・主な要点につきましては以上となっております。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・今の要旨については、委員の皆様方、レンジャーさん、それぞれに前の機会に確認をしていただいております。その中で気になるところ等ありましたら、後で年間活動報告の時間がありますので、そちらで議論をお願いしたいと思います。このパートについては、今説明のあったとおりとさせていただきます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (3) 琵琶湖河川レンジャー勉強会「野洲川における地域活性化に向けて」開催報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは次に、レンジャーさんの勉強会、野洲川をフィールドにした勉強会をしていただいたので、それについての説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・では、続きまして、資料-3になります。 ・若干説明の日付が前後するかもしれませんが、先月2月4日に河川レンジャーの勉強会を開催いたしました。今年度は、1回目が7月にEボートの研修ということで、こちらも野洲川。また、2月には野洲川の地域活性化ということで開催させていただきました。 ・この勉強会は河川レンジャーのスキルアップや活動の後押しになればということで、中洲親水公園の利用促進を目的として、水辺の特性を生かしたまちづくりの全国事例やノウハウというところを勉強いただきました。 ・河川レンジャーさん、守山市役所さん、それからレンジャーさんとともに活動をされている一般の方に参加いただきました。 ・福井県でご活躍されております田中謙次さんをお招きして、「水辺とまちづくり」ということで講義いただきました。水辺の取り組みの実践事例の紹介と、そういった活動をしていく上でのポイントを説明いただきました。また、グループワークも実施しまして、中洲親水公園をテーマに、利用促進の考え方の主なポイントとしては、ギリギリセーフの計画ではなく、ギリギリアウトの計画から始めていくと、楽しい計画に落ち着くというようにお話をいただきました。その中で、なぜそれが必要か、実現するにはどのようにしたらいいかという点について皆さんで考え、意見出しをしていただきました。

		<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーの皆様からも参考になったという感想をいただいております。事務局としましては、今後こういったノウハウをレンジャー活動に生かしてもらうことが期待できるのかなと思っております。 ・簡単ですけども、以上、ご報告でした。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、説明ありがとうございました。 ・レンジャーさんにとっていい機会をつくっていただいていると思います。田中謙次さんがストレートにやっているフィールドと野洲川の状況は少し異なるかもしれませんが、利用するといいますか、参考にするところは大いに参考にさせていただければと思います。 ・あと、レンジャーさんのほうから、例えば今「ギリギリセーフ、ギリギリアウトの利用」というのがありましたけど、その辺をレンジャーさんはどう感じられたかということも後の報告の中で触れられるようでしたら触れていただければいいかなと思います。 ・それでは、今のレンジャーさんの勉強会についてはここまでとさせていただきます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (4) 琵琶湖河川レンジャー・守山市・琵琶湖河川事務所意見交換会開催報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、次に、事務所さんとの意見交換会も開催していただいておりますので、それについての説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、資料-4となります。 ・勉強会を受けた1週間後に似たようなテーマでの意見交換をさせていただきました。昨年度から守山市さんにも入っていただいて中洲親水公園をテーマに議論しておりますので、その続きの議論ができたということで、河川レンジャー、琵琶湖河川事務所の三者による意見交換会を開催いたしました。 ・守山市さんの公園の部署の方にも参加いただきまして、昨年よりも実質的な具体の議論が交わればという設定で開きました。また、河川事務所のメンバーも替わられているということもありまして、そもそもどういう目的でこの公園を整備することになったのかということから振り返りながら、また去年の議論や今年の利用実績も紹介しながら意見交換をいたしました。 ・テーマはやはり中洲親水公園の利用促進についてということで、実際地元の方から、釣りができるイベントがしたいとか、キャンプができるといいとか、バーベキューをしたいとか、トイレがあまりよくないとか、いろんな意見をいただいております、こういったそれぞれの意見に対してどこまでできるのかとか、できるためにはどうしたらいいかについて意見を交わりたいということで、ここでは水上レンジャーに進行役と

		<p>なってもらいまして行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのテーマに対してできること・できないことを守山市さんからもお話しいただいたり、実際トイレなんかは新しくリニューアルする計画があるということをお話していただいたり、解決できそうな問題も幾つかあって、レンジャー活動としてどういったところをチョイスしていけばいいのかという目安にもなったかなと思っております。 ・また、ここは環境学習というところで非常にいい使い方ができるので、あまりルールとかにはとらわれずに考えていけばいいんじゃないかというような意見もいただいたりしてございました。 ・簡単でございますが、以上でございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、ありがとうございます。 ・今の資料にもありましたとおり、行政、特に守山市さんの参加もいただいておりますし、この辺は非常に大事なと。川とのつながりとか、いろいろやっていくわけですけども、事務所さんで取り組んでもらっている事業と、それがうまく地元広がる——ただ、地元としては「遊べる場所があったらいいやん」というところですが、行政の事業としては「住民の方にできるだけ川に近づいてもらえる場所を提供していきます」というようなところで、そこでソフト的にどう使うかというのは、先ほどもありましたように、ギリギリアウト的な、本来の枠をちょっとはみ出すような使い方のほうが面白いことがあるような気がしますので、その辺もうまく機能していくといいなと思って聞いておりました。 ・あと、本日は非常に議題もありまして進行が難しいなと思っているので、またご意見等ありましたら、多分レンジャーさんの年間活動あるいは活動計画の中に関係してくると思いますので、そちらでお願いすることとさせていただきます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (5) 河川レンジャーの募集に関する取り組み	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、次、レンジャーさんの募集に向けての取り組みというところの説明をお願いできますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・では、次は資料-5となります。募集に関する取り組みとしまして、前回の委員会でも前半どういことをしてきたかというのを触れさせていただきましたけれども、後半どのようなことをしたかということを中心にまとめております。 ・河川レンジャーの応募状況でございますが、今回の委員会に向けては特に応募はございませんでしたが、10月に1名、福西レンジャーに応募いただいたことを再掲しております。また、12月に支援室が企画しました川歩き等で参加された方からレンジャーについて興味があるというお問

	<p>い合わせをいただき、レンジャーの説明をさせていただいたという経緯があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募状況については以上のような状況になっております。 ・続きまして、河川レンジャー及びレンジャートライアルの募集についてということで、今年度はチラシをリニューアルして配布をしておりますけれども、前回の64回の会議のときにトライアルのほうも進めていったらいいよというご指南をいただきましたので、トライアルの募集チラシもつくりまして、案内できるところに案内したり、ホームページでも見ていただけるよう、チラシにリンクするページをつくったりいたしました。 ・今のところ、龍谷大や立命大にトライアルのチラシを置かせてもらっているんですけども、まだ応募というところまでには行き着いていないというような状況でございます。 ・次のページに配っているチラシを掲載させていただいております。 ・これについては、また来年も引き続き実施していくものかなと考えております。 ・それから、3ページ目は河川レンジャー支援室が主催となりました行事の紹介でございます。こちらは、11月13日と先日の3月12日に瀬田川歩きと野洲川歩きというのをしました。資料に載せておりますのは瀬田川の川歩きでございます。 ・瀬田川の河川管理の要衝や歴史景観を見ていただいて、室内に帰って感想や疑問点をお話いただくと。その中で、河川レンジャーの仕組みや活動事例を紹介させていただきました。現地を歩いて川のことを説明すると、初めて知りましたという方がやっぱり多くて、こういうことをする意義がかなりあるのかなと感じられました。また、たくさん見る場所もあるので、今後も第2弾、第3弾と続けられたらなというところがございます。 ・資料は瀬田川の川歩きだけでしたけども、野洲川のほうを先日の土曜日に実施しました。別紙の資料となりますけども、速報的に状況を報告させていただきます。 ・ここも下流の半分ぐらいの管理区間で行いました。ちょうど野洲川放水路の部分歩きまして、改修の歴史やあめんぼうの公園の経緯、こういったことを見ていただきました。こちら、実際歩いたのは初めてだったとかスケールが大きかったというような感想をいただきました。 ・こういったことをしながら、河川レンジャーに興味を持っていただけたらなということでやっております。 ・資料に戻りまして、5ページのほうでは、前回の会議でもご指摘がありましたように、河川レンジャーはどこで何をやっているのかとか誰がや
--	---

		<p>っているのかというようなどころもあるので、広報する意味でも、後ればせながら、のぼりをつくらせてもらって、このような活動で掲げながらやり始めております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後、ウォーターステーション琵琶でのSNSでの募集掲載でございます。 ・今回、福西レンジャーはTwitterを見て応募してきたということもありまして、TwitterやFacebookを見ていただいている方がどれぐらいいるのかという情報を整理しております。 ・常に放流量のデータとかの情報を流しておるわけですが、少し違う話題を載せたときに見てくださる方が増えるような傾向が見てとれましたので、今後も時々有用な情報をキャッチして流すことも必要なんだなというふうに感じております。 ・資料-5の説明は以上となっております。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の説明、ありがとうございました。いろんな取り組みを工夫して広げてもらっていますが、それは非常にありがたいことだと思っております。 ・委員の皆様から今の点について何かコメント、質問、意見等ございませんか。よろしいですか。また関係しそうなところがありましたら、これから活動報告もいただきますので、その中でご意見等を頂戴できればと思います。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (6)2021年度 琵琶湖河川 レンジャー年間 活動報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、レンジャーさんの年間活動報告に移らせていただきますので、事務局、準備をお願いできますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、お手元の資料-6となります。 ・この議事では、今年度の河川レンジャーさん3名の活動計画に基づいた年間活動実績について報告いただきまして、委員の皆様からご意見、ご助言をお願いしたいと思っております。 ・レンジャーさんから7分を目安に報告いただきまして、質疑応答の時間を8分ほど設けております。議事の進行の関係で、時間が参りましたら合図させていただきます。 ・では、根木山レンジャー、水上レンジャー、福西レンジャーという順番で進めていきたいと思っております。進行につきまして、中谷委員長、引き続いてお願いできますでしょうか。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、進行させていただきますので、レンジャーさん、よろしく願いいたします。 ・まずは根木山さんからお願いできますか。

R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・改めまして、琵琶湖河川レンジャーの根木山です。9年目の活動になっております。今年度も「野洲川の川守りをつなぐ」ということで、主に守山市中洲地区に入りまして活動をさせていただいております。 ・11月以降の活動ということで、簡単にトピック立ててご報告したいと思います。 ・11月は、中間報告会の後に、野洲小学校で野洲川の改修に関する学習の支援に行っていました。4クラスで、たくさんの人数の生徒さんを相手にするというので、水上レンジャー及び支援室にもご協力いただきました。5人のメンバーで行っていました。 ・事前に建設省が制作された記録映画を見ていただいて、それに関する話し合い活動ということで、5人のメンバーと子供たちが輪になって話し合うという活動をしてきました。記録映画に関してはちょっと難しかったという感想もいただいたんですけども、じかに10人ぐらいのグループで私たちと話し合いを重ねることで身近に野洲川のことを感じていただけたのかなというふうに感じております。 ・続いては、今年の夏から取り組んできました、守山北高校の生徒さんによる課題研究のご報告をさせていただきます。 ・こちらは、3年生の1クラスのうち、8人の生徒さんが2班に分かれて野洲川の防災や水害をテーマにした課題研究をされるということで伴走支援をさせていただきました。 ・事前に授業の見学をさせていただいたり、授業にお伺いして話題提供をさせていただいたりしながら、12月には、1つの班は県庁にヒアリングに行っていたり、辻委員にもご協力いただいて、ヒアリングが実現しました。12月8日は琵琶湖河川事務所にヒアリングに行っていて、こちら琵琶湖河川事務所の管理課のほうにお世話になって、ヒアリングが実現しました。生徒たちは、ヒアリングの結果を得て、自分たちで調べたことも含めて成果発表を1月にされました。 ・今年は初年度ということでどのぐらい生徒さんが深掘りできるのかなというのを様子見しながら伴走していたんですけども、比較的意欲的に取り組んでいただいて、ヒアリングなんかでも物怖じせずに県庁や琵琶湖河川事務所の職員さんにいろんなことを聞いていました。 ・成果としては、今年度の取り組みを踏まえて、今年度は3年生1クラスだけだったんですけども、来年度は1年生4クラス全部を地域に出したいというふうなことを校長先生と担当の先生からおっしゃっていただいておりますので、ぜひ来年度は実際に野洲川での活動に高校生に参加してもらえるように支援していきたいというふうに考えております。 ・それから、住民グループによる幼木伐採ということで、11月の河川清掃活動に併せての実施と、1・2・3月と、月1回ずつ活動をさせていた
------	--

		<p>だいております。幼木なので根本から枝分かれしていて、細い木で、子供でものこぎりで簡単に切れるというよさがあるって楽しい活動なんですけれども、結構手間がかかって、手間がかかる割に真ん中に写っている写真ぐらいの量しか取れないと。以前は太い木をチェーンソーで切ってたので割と効率よく燃料が取れたんですけれども、最近は少しずつ取りためていくというような活動になっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あと、琵琶湖河川レンジャーののぼりも立てさせていただいて活動を実施しております。 ・あとは総括的な話になるんですけども、河川レンジャー勉強会でも私の要望を聞いていただいて他府県の先進事例の勉強会をしていただいたり、また河川事務所との意見交換会でも主にあめんぼうの活用に向けての意見交換をしていただいて、すごく議論が進んできたな、煮詰まってきたなということを感じています。 ・それで、野洲川の利用が少ない状況の中でも、住民グループの活動支援を通して、水辺での子供たちの活動というのが非常に価値のある活動なんだということを手応えとして感じています。具体的には、昨年7月にやった川遊びオープンデイに100名近い、たくさんのご家族が参加されたり、それをきっかけに住民グループの代表者の方が「ここで何かできるのかもしれない」というような手応えを感じておられるようで、OGである娘さんが河川レンジャー勉強会のEボートの操船講習に参加してくださったり、2月にあった河川レンジャー勉強会にその代表者の方が自ら参加してくださったりと、すごく主体的な活動が増えてきたなということで手応えを感じています。 ・一方で、琵琶湖河川事務所、守山市との意見交換でわかってきたことは、もともとのかわまちづくりの計画に準じて考える必要があるよということをお教えをさせていただいて、その時点の考え方としては、福井県の事例のような収益事業を前提とした活動までは多分前提にされてなかったんだろうということが共有されました。ただ一方で、野洲川冒険大会では模擬店を実施された実績がありますので、そういうものをひもときながら、住民が望む活動を実現できるように行政とも丁寧に話をして進めていく必要があるんじゃないかなということをお思っております。 ・とりあえず私の活動報告は以上になります。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・根木山さん、ありがとうございます。 ・では、今報告いただきました件について委員の皆様から質問、ご意見を伺います。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。・・・いかがでしょうか。はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ご報告ありがとうございます。 ・2点ありまして、一番最後におっしゃっていた地域の収益につながる活

		動、取り組みというのは、地元の方がどれぐらいの重みで求めているんでしょうか。
R根木山		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・地域活性化に資するためにかわまちづくりの取り組みがスタートしていると思うんですけども、地元にしてみると、リーダーの方々、例えば自治会長さんであるとか、あるいは自治会長さんとすごく親しくされている、地域活動を熱心にされている方とかと話をすると、地域活性化という言葉の中には、地元の雇用につなげるとか若い世代が働く場所が欲しいとか、そういう思いがリーダーの中にあるということを感じてます。 ・ただ、それがどの程度大きな数の声なのかというところはまだ十分に把握できてない状況です。
平山		<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。ありがとうございます。 ・私の個人的な感覚なのでコメントとして受け取っていただければと思うんですけども、「事業化とか収益を目指すイベント」と「気軽にいつでも来て遊べるイベント」というのはもしかしたら方向性が違ってくるかもしれないなと思ひまして。そうすると、対象者とか関わってくださる方が変わってしまうかもしれないという不安があります。今まで来てくださった方が「そんなんやったらいいわ」というふうになるとすごくもったいないなと思ったので、根木山さんがコーディネートされているのでそういうことにはならないとは思いますが、少し気になりました。 ・もう一個お伺いしたいんですけども、野洲川は複数の市に接していると思いますが、守山市以外の関係者とか参加者の広がりほどの程度ありますか。
R根木山		<ul style="list-style-type: none"> ・メインでやっている活動は中洲地区にかなりフォーカスを絞っているものであれなんですけれども、今年度は、たまたまですけど、野洲市立の三上小学校や野洲小学校での学習支援もさせていただいて、そういった方々は中洲での活動を人から紹介されてとか中洲での活動をSNSで見てという感じで広がっているんで、そういった形で広がりがあるという感じですかね。
平山		<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。もう少し上流のほうに目を向けたり、守山市さん以外の行政の方とのつながりも増えると、上下流のつながりが見えていいかなというふうに感じました。 ・以上です。ありがとうございます。
R根木山		<ul style="list-style-type: none"> ・あと補足をしておくと、北井さんが紹介してくださったのかもしれないんですけど、滋賀県の土木事務所の紹介で湖南市のロータリークラブさんから連絡をいただいて、これは河川レンジャー活動とは別に取り組

		<p>んでいるんですけども、河川レンジャーの活動を聞いて連絡をいただくようなことは起こってます。ただ、石部より上流側の活動なので河川レンジャー活動には入れてないんです。</p>
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・ご発表、ありがとうございました。伺っていて、環境学習の提供というのが今年度はすごく充実されていて、今までの活動からのご縁がつながっているのかなと思いました。 ・多分、学校のご要望というのはいろいろだと思います。先ほども5人の体制をつくって行きましたというご報告があったんですけども、規模が増えてきたり、問い合わせが重なってくるようなことがあって年間の活動の中で比重が大きくなった場合、どういうふうに取り組みされるのかなというのがちょっと気になりました。根木山レンジャー1人では、1人でというか、年間の活動とか機会の中で関わり切れない部分も出てくるのかなと思いながら聞いていたんですけども、具体的に守山北高校さんは次年度クラス数が増えるということがありました。何か考えておられるようなことはありますか。対策的なことなり、あればと思いましたが、いかがでしょうか。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・今年度も実際5・6・7月ぐらいは支援室にかなり手厚くご支援いただいて、それでできた部分が結構あったなというふうに感じてます。 ・守山北高校さんについては、まだ具体的話までは行ってないのでどのぐらいの規模になるかはわからないんですけども、例えば1クラス30人を野洲川に入れるとなれば結構大変な作業にはなると思うので、その辺は支援室のご協力をいただいてやる形になるのかなというふうに考えています。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しながらという感じになるのかなと思います。川に接する機会をいろんな世代に提供する機会自体がないので貴重なのですが、いろんな関係機関と協議しながら体制をつくっていただいて来年度も引き続きお願いします。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・今年度も想定外であった新守山川での活動も傍聴されている武田さんとかにご支援いただいたんですが、河川レンジャーが全てするというのは難しいので、いろんな関係機関と連携しながらやっていくという体制をつくっていくことが多分大事なんだろうなと感じております。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。ほかにいかがですか。はい、

		<p>辻委員、どうぞ。</p>
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・根木山レンジャー、報告ありがとうございました。 ・私のほうからは、お礼と1点確認です。 ・まずお礼です。滋賀県のほうにも学生さんを率いてヒアリングに来てくださいます、ありがとうございました。引き続き、県、また土木事務所の方にもつなぎのところで活躍いただけることを期待しております。 ・それから、1点確認です。報告の最後のところで、主体的な活動について手応えがあるというようなコメントをいただいております。その具体的な内容についてちょっと確認したいという趣旨です。 ・といたしますのが、レポートを拝見しますと、「何月に誰としゃべった」はきめ細かく書いてくださっているんですけども、一方で中身のところがちょっと見えへんなというのを感じまして発言しているものです。特に「実施目的」のところ野洲川の維持管理や環境保全に参加・協力する住民が増えるようにしていきたいというミッションを書いておりますけれども、そういう観点で、中身でどういう手応えがあったのか、またどういうところが阻まれているように感じているのか、さらには来年からどういうふうにしたらもっとこの辺がよくなると思われるのか、その辺をお尋ねいたします。 ・以上です。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・県庁のほうは、本当にまだ生徒が成果を出せる状況ではないので、もうちょっと辛抱強く付き合っただけたらと思います。よろしく願います。 ・それから、住民のほうなんですけれども、先ほど言ったように、ずっと伴走支援しているなかす野洲川たんけん隊という住民団体の、特に代表者の方が、幸津川にお住まいの方なんですけれども、川遊びに100人ぐらい参加者があったことで「この活動って、結構みんなに期待されている活動なんだ」ということを感じておられるように感じています。何か言葉でやりとりしているわけではないんですけども、そういうのを感じていて。それは、具体的に言うと、その娘さんが初期のリーダーで、今は高校生になっているんですけども、Eボートの講習のレンジャー勉強会に参加して下さったり、代表者の方ご本人が2月の勉強会に参加して下さったりというようなこともあります。 ・あと、水辺での活動自体に、なかす野洲川たんけん隊に参加されている親子の方々が「野洲川たんけん隊の活動は子供たちが参加したいと言っている」というようなことをLINE等のやりとりで教えてくださるようになってきていて、子供たちが川での活動をすごく望んでいるということをお母さんもお感じおられるので、幼木伐採活動なんかも割と積極

		<p>的に家族連れで参加してくださっているような状況があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それに併せて、中洲こども園さんや中洲小学校さんでの学習も、自分で言うのもあれですけど、割と質のいい活動を提供できるようになってきているので幼稚園の先生たちもすごく喜んでくれますし、まず第一に子供たちがすごく喜んでいて変化するので、子供たちがこれを望んでいるということを身近にいる大人たちが感じて前向きになっているという手応えを感じております。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・子供たちの参加が大人にも響いて、それで大人から子供までの参加が見込まれる、そういったところの手応えがあったという理解でよろしいでしょうか。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
	辻	<ul style="list-style-type: none"> ・とすれば、引き続き子どものきっかけで大人までが関わっていただけるような活動のサポートを今後もお願いしたいと思います。 ・以上でございます。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。 ・では、時間のこともあるので、続きまして、水上レンジャー、お願いできますか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、年間活動報告について、最初のほうは何回も説明させていただいてますので、時間の関係上、簡単にご説明します。 ・行政と一緒に野洲川の河川清掃をやってきましたが、今年度は、あるべき姿と言うんですかね、最終段階の「住民主体の川づくり」を目指していろいろやってきてます。それについてどういうふうに事前の調整をして実施したか、どういう課題があったかを今から説明させていただきます。 ・まず、全体のほうは飛ばして、8ページの活動計画です。 ・いろんなことをやろうということで事前に調整をしました。まず簡易炭づくりですが、春の河川清掃がコロナでできなかったものですから、本番でいきなりするのもあれでしたので、事前の準備として幼木伐採を使った炭づくりを何回か試行して、それで何とか成功したという形で本番に臨んでます。 ・本番前の事前調整としましては、「住民主体の川づくりに向けて調整」ということで、まず綾羽株式会社と事前調整をしています。これにつきましては、基本的な考えとしては、それぞれがいろんなパーツをやります。例えば防災かまどの炊き出しは、中間のときにも報告しましたが、綾羽さんに材料も全部持ってきていただいて、避難所に炊き出しに行く体

	<p>験、リアル体験という研修をやるという形で調整をしました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2番目の立命館守山中学校は、先ほどの幼木伐採と簡易炭づくりを事前に何回かやりながら主体的に参加してもらうように調整をしました。・ レイマックさんは、中洲親水公園を利用した、家庭用テントの組み立て体験を試行してもらうということで調整をしました。・ あと、地域住民の方は、地域の方が植えられたシバザクラの保全活動を一緒にやりましょうということで参加の調整をしました。・ 実際、令和3年11月20日にやりました。お手元のレンジャーレポートを見ていただきたいんですけども、北井さんに、集合写真のタイトルと言うんですか、何の活動かがわかるようにしたらどうかという助言をいただきましたので「令和3年度野洲川河川清掃」というのをつくって、のぼりも掲げて、こういう集合写真を撮りました。・ それで、どういうことをやったかということ、下の「ひだまりの除草」というのはシバザクラの除草をしました。それから、真ん中が野洲川河川清掃。下は幼木伐採の試行ということで、実は真ん中の青い帽子をかぶっている人は守山の宮本市長なんですけど、市長にも参加していただいて大変なことをやっていただきました。裏を見ていただきまして、それ以外に「野洲川の生き物を知ろう」「防災かまどづくり体験」「簡易炭づくり」ということで、このように非常に盛りだくさんやりました。・ 結果的にどうなったかということ、資料9ページの「活動結果と課題」、ここが一番大事なところで、来年度の計画にも反映しようと思っているんですけども、実施項目が非常に盛りだくさんだったので同時進行になってしまって、さすがに私一人の進行ではうまくいかなかったというのが現実です。・ 特に、河川清掃やシバザクラなどのチーム分けは事前調整でうまくいったんですけども、それを実際やるときにリーダー的な存在がいなくて。それで作業内容やチーム内の作業分担や活動エリアが共有されてなかったということで、これは参加者の方からも感想をいただきました。・ もう一つ大事なところで、地元の行事と重なって地元の人の参加者が物すごく少なかったと。これはちょっと大きな課題です。・ なおかつ、「野洲川河川清掃の参加者の主な感想」ということで、時期をちゃんとやったらどうかということ。それから、2番目はさっきお話ししましたチーム分けですね。3番目も時期のことです。要するに、地元の方が参加してないですよ。4番目もそうです。これは大分皆さんから意見をいただきました。あと、簡易炭づくりのところはタイムスケジュールがうまくできなかったと。6番目は、野洲川は教育フィールドとしてはかなりいいので参加させていただきたいけども、交通手段の確保が課題ということで、こういったいろんなご意見をいただいています。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで一番よかったのは、今までは、信頼関係はある程度できていたものの、「水上さんがやっているし、あんまり言うたら悪いかな」ということもあってなかなか意見をいただけなかったんですけど、今回は一歩進んで、より深い信頼関係ができたことで本音ベースの話をしていただいて、なおかつ前向きな話をしていただいたということで、個人的にはよい感想が聞けたんじゃないかと思っています。 ・これが住民主体に向けた一歩になるということで、ここは活動の評価もBにしています。あとはC評価、D評価にしています。 ・これを受けて、この後、計画をどういうふうに進めるか、この課題をどうクリアしていくかというのをまた説明させていただきたいと思います。 ・以上です。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・水上さん、ありがとうございました。 ・委員の皆様から、質問、ご意見等を伺います。どなたからでも結構です。どうぞ発言ください。いかがでしょうか。平山委員、どうぞ。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ご報告ありがとうございました。 ・8ページの中ほどにあります(4)の「住民の声(想い)を聴き、届ける(地域連携)」という活動の右側に「アンケートを行いまとめた」と書いているんですけども、これは先ほどご紹介いただいたイベントに対する感想というアンケートですか。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・これにつきましては、それ以外に、野洲川についてどうかとか、いろんな感想をとってます。その一覧表を委員の皆さんには報告書と一緒に送ってますけども、今回これにはつけてませんが、10何項目ほど皆さんから意見をいただいています。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・すいません。私がちょっと見逃しているんだと思うんですけど、そのアンケートのまとめというのは全部の結果を紹介いただいていますか。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。特にこれを受けてどうしていくかという課題のところですので、ここには主なものしか書いてませんが。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、川に対する考え方や思いのところでは大事なものはどういうものがあつたのかですとか、それを踏まえて企画の内容が次年度どう変わるのかというご紹介をいただけるとよかったかなというふうに思います。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・川に関することは、ここにも載せましたけども、教育フィールドとして野洲川はうまく使えるなということだけいただいて、あとは、はっきり言って、なかったです。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・そうすると、川に対する声というのはあまり集められていないということですか。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・結果的にはそうですね。それが少し課題かなとは思ってます。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一点。同じ8ページなんですけども、(2)と(3)の活動結果の最後が「炭作りができなかった」ですとか「テント組立体験の試行ができなかった」と書いていて、それがC、Dという評価にも関係しているのかなと読み取ったんですが、少し違和感があって、イベントで予定してたことができなかったことと河川レンジャーの活動としての課題、つなげたかつなげなかったですとか、声を聞けたかどうかということは少し違うかなというふうに私は思うんですけども、レンジャーの活動としてつなぎ方がどうだったか、つなげたかどうかというところではこのC、Dの評価でいいんですか。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。要するに、いろんなことをつなごうと思ってやったんですけども、そのつなぐというところがうまくできなかったから、結果的にテントの試行ができなかったと。炭づくりも、調整をしたけど、その調整がうまくできなかった結果がそれであったというふうに思ったので、そのように自己評価したわけです。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・そうであれば、どういうところに調整の課題があったのかをここに記載いただいたほうがわかりやすかったかなと思います。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。参考にさせていただいて、今後そういう形で報告したいと思います。ありがとうございます。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、北井委員、どうぞ。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・コロナで春の活動が中止になった中で再調整して、秋の活動は充実してきたのかなと思いました。 ・地元の参加者の方が少なくて日程調整が課題だということを挙げていただけてますので地元とのやりとりというのがちょっとだけ垣間見えたんですけども、企業さんについては、いろんな準備、仕込みをされて、綾羽さんとレイマックさんのご反応はいかがだったかなと思ひまして。できたら参加主体の一つとして教えていただけたらと思ひました。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・綾羽さんは、研修も兼ねたものですから、よかったということで。余談ですけど、担当の方が退職されてほかのところに行かれたんです。ただ、来年も引き続きということでしっかり引き継ぎもしていただいたので、河川清掃活動なのか防災かまどなのか、どっちになるのかわからないけども、個人的にはいい評価をしていただいたかなと思ひてます。 ・レイマックさんのほうは来年もやります、ということで、早速ここが終わった後に何回か話もさせていただけてます。 ・ついでに、立命館守山中学校のほうも、この後に計画をお話しさせてもらいますが、今日の午前中に来年度の調整をしてみました。結果的には

		良かったというところですけども、前向きな意見をいただいたということで私は評価をしています。
	北井	・そしたら、また引き続きやっていきましょうねという感じで終わっていただいている様子ですね。
	R水上	・そうです。
	北井	・はい、わかりました。ありがとうございます。 ・そういう意味では、レイマックさんは活動への参加が長くなってきましたね。
	R水上	・そうですね。
	北井	・わかりました。ありがとうございます。
	中谷	・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。 ・時間の関係で一言ぐらいしか言えないんですが、企業さんの関わりがあるんですけど、企業さんの活動から見て、ボランティア、社会貢献、その辺の意識として「会社としてはこうなんだ」みたいなことはレイマックさんや綾羽さんは言っておられますかね。
	R水上	・そうですね。もともと社長さんが、地域との交流というか、連携ということで地域貢献を言っておられましたし、会社に行きましたら、川の清掃活動で事務所から表彰していただいたときの表彰状が部屋に飾ってました。だから、非常にそういう活動はよかったと思われてます。 ・来年度は会社としてSDGsの取り組みができたらいいなということでレイマックさんとも話をしています。
	中谷	・はい、ありがとうございます。 ・では、後にも時間がありますので、言い足りなかったことはまたそちらでご発言いただければと思います。 ・次は、福西レンジャーから報告をお願いします。
	R福西	・11月からレンジャー活動をさせていただいてます福西と申します。よろしくをお願いします。時間の都合上、計画と結果をお話しさせていただきましたと思います。 ・まず、1番として「瀬田川利用者の実態とニーズの把握」という計画を挙げさせていただきました。 ・清掃活動を行っている中で、地域住民の方から声をかけていただくことがとても多かったです。時間の都合上や感染予防の観点から、長時間の会話は少し行いづらかったというのが僕の感想です。 ・活動中に挨拶を行った地域住民の方々からかけていただいた感謝の言葉などを、このメモを常に活動中持ち歩いて、メモさせていただきました。「福西河川レンジャー活動報告別紙」に活動時のノート記録がありますので、また見ていただけたらなと思います。

- ・南郷公園で清掃活動をしているシルバー人材の方や滋賀パトロールランニングの方々の活動を知ることができました。
- ・瀬田川出張所や支援室との意見交換の場で、清掃活動のごみの処理場などについて情報を得ることができました。
- ・また、瀬田川利用の釣り人のライフジャケット着用率がとても低いことがわかりました。活動期間中、釣りのオフシーズンだったこともあり、釣り人は9人で、ライフジャケットは1人しか着用されていませんでした。思ったより低いなという感想が僕の中でありました。
- ・小学生の釣り人2名が瀬田川で楽しまれていて、そのときにライフジャケットをつけておられなかったのが、落水時の危険性やライフジャケットの必要性について説明することができました。
- ・この成果目標と結果については、C判定とさせていただきました。
- ・次に2番です。「景観保全やマナー面から見た課題の把握 活動の呼びかけと実施」を挙げさせていただきました。
- ・この活動結果としましては、清掃当日にSNSに活動内容を上げることができました。また、清掃した結果についてもその日の夜に報告することができました。ただ、個人アカウントをもっと認知してもらう必要があると自分の中で考えました。今フォロワーも30人ぐらいしかいないので、もう少し認知していただけるよう、精力的に活動していこうと思います。
- ・生活ごみのポイ捨てが多いんですけども、瀬田川ぐるりさんぽ道にはごみがとても少なかったです。それはなぜかと申しますと、ウォーキングのときに一緒にごみ拾いをされている地域住民の方が結構多くて、驚いたのと同時に、さんぽ道にごみが少なかった理由も理解することができました。
- ・活動期間中は釣りのオフシーズンということもあって、路上駐車はほぼなかったです。僕が活動している中ではゼロでした。
- ・次、3番目ですね。「瀬田川の利用者の把握と、行政等との共有」ということで、瀬田川出張所のほうに活動内容の報告と挨拶に行くことができました。所長に大人数での清掃活動を実施する際に回収したごみの廃棄方法についてアドバイスをいただくことができました。
- ・利用者の把握、想いや課題の把握については今後も継続して行っていくことが必要であると感じました。
- ・3月中旬ごろに「地域住民や活動団体による清掃活動行事の企画・実行」というものも挙げていて、別紙の一番最後にある「瀬田川清掃の活動概要」というものをつくっていたんですけども、コロナが流行していたということもあって結局これを地域住民の方に呼びかけて実施することができなかったので、次年度の活動にまた入れていきたいと思っています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していなかったが実施できたこととしまして、休日や早朝には瀬田川周辺で活動している団体があることを知ることができました。 ・また、琵琶湖湖岸の湖岸緑地志那の渡り鳥観察小屋で「草津湖岸コハクチョウを愛する会」の吉岡美佐子理事長に河川レンジャーとして挨拶することができました。そのときに吉岡理事長より渡り鳥観察小屋内での活動説明を受けることができ、こういう活動もあるんだなという理解をまた深めることができました。 ・僕からの報告は以上となります。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・福西さん、ありがとうございます。任命されて短い期間ではありますが、精力的に活動をしていただいています。それも県内ではなしに奈良からお越しいただいているということで、ありがとうございます。 ・委員の皆様、いかがでしょうか。ご質問、ご意見等伺います。どなたからでも結構ですので、どうぞご発言ください。皆さんない中で、私からちょっと。 ・アドバイスのことなんですけど、清掃活動を計画してということですが、秋に河川事務所さんが主催して呼びかけてやる大規模のものがあつたり、自治会が自分の守備範囲でやっているものもあるので、情報収集を先にして、例えば地元でやっているところに何かしら合流するとか、さっきあつた、ぐるり散歩道ではごみが少ないというのは、多分日課的に拾っている人は「これはやって当たり前」というふうになっていると思うので、そういう常に歩いてはる人に「どういう気持ちでやってはるんですか」みたいに呼びかけたり。ほかにも、年に何回か歩く人とか、いろいろあるので、言いましたように、何か計画される折には周りの情報も集めて企画されるとよろしいのではないかと今の報告から感じました。 ・委員の皆さん、いかがでしょうか。
矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・私のほうからはコメントですね。特に福西さんに限らず、根木山レンジャー、水上レンジャー、福西レンジャー、お三方とも新型コロナウイルス感染症対策でいろいろ制約のある中で様々な活動をしていただきましたこと、誠に御礼申し上げます。 ・今のお話を聞いて、今年度はなかなか動きにくかったことも多くあったと思います。この後、次年度計画についてお話いただけると伺ってますけれども、これを踏まえて来年度に生かしていただければと思います。 ・併せて、気になったことがありましたら、皆さん遠慮なく事務局もしくは支援室にお話しいただければと思います。我々のほうも今伺った話に関してできることを拡大できないか検討していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

		<ul style="list-style-type: none"> ・以上、コメントでした。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> ・矢野委員、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。はい、北井委員、どうぞ。
北井		<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立ててから間もない中でのご活動、ありがとうございました。 ・レポートを見ていると、結構夜間の活動も多くて、お仕事や奈良から来てくださっているという調整の結果かなと思うのですが、ご無理なかったですかというか、大丈夫ですか。安全面もですけども、支障なかったか、何とか来年度もいけそうだと思いますか、そのようなご感想を伺えたらと思います。
R福西		<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の都合上、不定期な活動になったり、時間も夜間に活動することもあったんですけども、安全面としましては、懐中電灯のような、ペンライトのようなものを持って足元を照らして活動をさせていただきました。あと、帰宅途中の方なども多かったのもので、そこは状況を踏まえながら、忙しそう方にはもう挨拶だけで終わったりというふうな感じで活動させていただきました。自分自身としましては、短い間だったんですけども、楽しく安全に活動できたと思います。ありがとうございます。
北井		<ul style="list-style-type: none"> ・お疲れさまでした。「この時間帯まで？」と思いながらレポートを拝見しておりました。別紙も拝見していると、毎回きっちり記録をとってくださっているようなので、また取り組みを続けていただけたらと思います。ありがとうございます。
R福西		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> ・はい、平山委員、どうぞ。
平山		<ul style="list-style-type: none"> ・ご報告ありがとうございました。 ・活動の規模を確認させていただきたいんですけども、今年度全体で何名ぐらいの方にお会いして、その中で活動をされている方がどれぐらいいらっしゃるのかとか、どの程度知り合いになれたのかというようなところが全体が見えなかったのもので、その辺を教えてくださいませんか。
R福西		<ul style="list-style-type: none"> ・名刺を最初に50枚配布されたんですけども、50枚分は地域住民の方や南郷公園でグラウンドゴルフをされている方に時間をいただいて渡すことができました。 ・それで、その知り合いというか、滋賀パトロールランニングの団体さんとは挨拶を交わしまして、こちらの活動内容を伝えたところ、向こうの方から、次回タイミングが合えばお互い活動していきましようというふうな約束をしていただくことができたので、今後何か一緒にコラボできればなと思います。
平山		<ul style="list-style-type: none"> ・それに関連してなんですけども、もし瀬田川に行く時間や曜日が固定されると、お会いする方が固まってくるかもしれないなと思ひまして。それはそれでいいことだと思いますので、すごく広げたい時期なのか、深

		<p>めたい時期なのかというのをご自身の中で持っていらしたほうが、信頼関係というか、関係づくりはしやすいかなと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一点、確認というか、質問なんですけど、13ページの下の方、1の項目の左の四角の中の下から5行目に今年度の成果目標として「信頼関係を構築する」とあるんですけども、短い時間でどこまでできるかというところがちょっと見えにくいなと思ひまして、これを書かれたときはどの程度の信頼関係をイメージされていたか、教えていただけますか。
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> ・質問ありがとうございます。 ・僕の中で信頼関係が構築できたなという評価ができるとするならば、2回目にお会いしたときに僕からではなく相手のほうから「いつもありがとうね」とか、名前を覚えていただくとか、そういうことを言っただけなら信頼関係は築けたんじゃないかなという判断をしようかなとは思ってたんですけども、実際同じタイミングで行っているわけでもないで、そういう機会は少なかったんで、今後増やしていけたらなというの思ひます。
	平井	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・今日明日で急に信頼関係はできにくいと思ひます。対象の方にもよりますけれども、気軽に話をしてもらえ、話ができるというようなところはすごく感覚的なものなので、そういう人たちをどれぐらい増やせたかというのを1年後またお伺いできればと思ひました。 ・以上です。
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ほかにいかがでしょうか。時間のこともありますので、年間活動報告のところは一旦ここまでとさせていただきます。委員の皆さん、言い残したというようなことがありましたら、この後すぐに暫定の活動計画をお話しいただくことになってますので、その中でお願いしたいと思ひます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
4. 審議 (1)2022年度 琵琶湖河川 レンジャー年間 活動計画(案) 【暫定版】	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・そしたら、事務局、その辺の都合で進行をしていただきたいのですが、時間を決めましょうか。といつても、あとあまり時間がないので、質疑応答を含めてお一方10分の予定でどうでしょうか。時間のコントロールをお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーさん、すいません。勝手に時間を決めちゃいましたけど、先ほど一通りのことはお話しさせていただいてますので、その辺をめどに暫定の

		計画について続けてお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・資料－7でございます。本日は来年度4月・5月ぐらいの暫定計画ということで、本計画は6月ごろの委員会で決めたいと思っております。 ・では、説明はお一方5分程度でお願いしたいと思います。中谷委員長、お願いします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、根木山さんから発表をお願いします。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の計画について、スライドのほうを中心にお話しさせていただきます。 ・来年度は、5つの目標を掲げております。 ・1つ目は、先ほどご報告したとおり、これまでの成果を踏まえて、野洲川を子供たちの自然体験活動の場として活用して、そのことによって子供たちの周りにはいる大人たちにも参加してもらおうという活動を進めていきたいと思っております。 ・2番目もそれに付随するんですけども、清掃活動や幼木伐採もこれまでのノウハウから――行政にとってみたら保全活動に住民が協力することなんですけれども、住民にとっては子供たちの豊かな体験活動になりますので、そういった多面的な価値をつくっていった保全活動に参加する住民を増やしていくということを実現したいと思っております。 ・3番目は「住民の声の聴取」ということで、先ほど質問にもありましたけれども、特に来年度は住民の声をしっかり聞けたらいいなと思っております。特別にお伝えすると、今、中洲の学区長が替わるというふうに地元でささやかれております。そうすると、地元側のリーダーが替わると、地元の声も変わってくる可能性がありますので、その辺はしっかり新しい後任の方――本当に決まったのかどうかまだ確認がとれてないので、4月に入ってから確認をとりながら、住民の声をしっかり聞いていきたいなというふうに思っています。来年はここがすごく大事なところかなというふうに個人的には感じております。 ・あと、4番目の「かわまちづくりに向けた関係機関との連絡調整」も今年度の成果を踏まえた活動になります。先ほど平山委員からもご懸念をお伝えいただいたんですけども、この間、意見交換会で僕が例に出したのは、例えば川遊びに100人参加してて、その場所に地元の自治会がかき氷の出店を出すというのはどうかという話を守山市や琵琶湖河川事務所としたんですけども、それはバツなんじゃないかという話が守山市役所からありました。でも、そのレベルのことが何とかできないかなと考えています。商業活動といっても、いきなりすごい会社がやってくるのではなくて、子供たちの活動の場にかき氷の出店を地元の団体さんに出してもらおうとか、そういうことができれば、地元としても一歩成果と

		<p>して手応えを感じてもらえるんじゃないかなと考えていて、それを実現するためにはどうしたらいいのかということを守山市や琵琶湖河川事務所とも調整していけたらいいなと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5番目のところは、今年度も、三上小学校や野洲小学校など、中洲地区以外にも活動が発生したり、あるいは新守山川の活動に協力したりみたいなことがあったんですけども、そういったことも少し考えていきたいなと思っています。その辺、委員の皆様からご意見をいただけたら今後の活動の参考にしたいと思いますので、よろしく願いいたします。 ・ 以上になります。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根木山さん、ありがとうございました。 ・ 委員の皆様、いかがでしょうか。どうぞご発言ください。はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1点コメントです。ちょっと思いつきのような感じで申し訳ないんですが、商業活動に関して思ったことがありまして、今までの活動の延長線上に商業化があるのか、もしくは全く別のところから「あっ、これはこういうふうになればお金になるぞ」みたいな人が来たときにそういうものをしてよいかどうかという2つの方向性があるかなと思ひまして、私は後者があってもいいんじゃないかと思っています。そうすれば、関わってくださる方に広がりを持つということと、川への関わり方や見方に新しいものが入ってくるという意味でよいのではないかなと思いますので、「そういうふうにご考慮される人、いませんか」みたいな感じで募集してみるのもいいかなと、そんなことを感じました。 ・ 以上です。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、ありがとうございました。 ・ ほかにいかがでしょうか。・・・ないようなので、私から少し。 ・ 中洲にしろ、野洲、守山、栗東にしろ、野洲川の沿川にある塊ですよ。そうすると、今も平山さんからあったんですけど、町なかでは大々的にミズベリングとか言って、それこそ「商業を目指してやるで」みたいな動きもあつたりするんですよ。お金を払ってやるのは駄目じゃないかみたいなことを守山市役所さんは言っておられるんですけど、何をもってそう言っておられるのか。先ほどの田中さんの話にあるように、逆に考えると「そういうことをやって何が悪い」的なこともあるんじゃないかという気もするし、守山市長さんだったら「ええよ」と言うのではないかなというように気がしておりますけれども、その辺は遠慮なく仕掛けていって、要は楽しいこと、住民さんから「こんなことやってみたい」というようなことがあれば取り組んでいけばいいんじゃない

		<p>かと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかの委員の皆様、いかがでしょうか。それでは、よろしいようでしたら、後で意見交換の場もありますので、そこでまたご発言いただくこととして、根木山さんの暫定報告については以上までとさせていただきます。ありがとうございます。 ・では、続きまして、水上さん、お願いできますか。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は何回も説明させていただいてますので、暫定計画書の4ページから説明させていただきます。 ・先ほどとダブりますので、主な意見は簡単に言います。要するに、一遍にたくさんやり過ぎて、参加者が分裂して作業してしまったために困ってましたよという意見。もう一つは、地元住民の参加が少なかったんじゃないかと。だから、時期も含めて考える必要があると。あとは、伐木とか、そういうのは引き続きやったらいいんじゃないかと、そういう意見をいただいています。 ・それを受けて、来年度も継続して野洲川清掃活動をしますけれども、どういうふうにしていくかというのを具体的に書きましたので、下のほうを見ていただけたらと思います。 ・まず、今年はコロナでできなかつたんですけども、2回は必ずやりたいということで春と秋にやる予定です。なおかつ参加者はほぼ一緒の形で、もちろん地域住民を重点的に参加していただくようにします。 ・第1部としては、たくさんやり過ぎないように、清掃活動とシバザクラの除草をまずやると。実施範囲は一緒です。 ・第2部としまして、2つぐらいにしようかということで、川に親しむイベントと防災かまどによる非常炊き出し体験。バーベキューとか交流会ということを書いてましたので、これは必須項目で入れてます。秋には幼木伐採と簡易炭づくり、防災かまどというような形で、項目を一気にやるんじゃなくて絞ってやります。 ・「その他」のところに書いてますけども、「地域住民の参加者を増やす」ということで、来年度は、野洲川河川清掃の実施に当たっては綿密な調整をしたいと思ってます。今年度は、コロナの関係もあって、人をたくさん集めるのはどうかということでやっていませんでしたけれども、コロナの感染が収まらない中でどうやって地元住民の方を集めるかということも考えて、来年度はそちらのほうに力を入れて、地元住民に広く広報を行って参加者を増やすようにしていきたいと思ってます。 ・それで、皆さんの思いを聞きながらやるのは変わらないんですけども、もう一つ考えたのは、幼木伐採と簡易炭づくりを一度にやりましたが、時間が足りないと言われてましたので、事前に立命館守山中学校と琵琶湖河川事務所と一緒に、一日とは言いませんけども、五、六時間ぐ

	<p>らいかけてきっちりやってみたいなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほども言いましたが、午前中に立命館守山中学校へ行きまして、5月19日に幼木伐採と簡易炭づくりをやるというお話をしてきました。これは中体連の体育大会の日で、スポーツ系のクラブは外で活動して、科学クラブなどの文化系クラブは自宅待機です。自宅待機といっても自宅で実習みたいなことをするというので、その日を使ってやろうと。20日は予備日にして、このように具体的に人数なども話してきました。 ・それで、中洲でやろうと思ってたんですけど、河口部のヤナギの木が非常に繁茂していて、それもやったらどうかというご意見もいただいていますので、こういうのを聞きながらちょっと変えていって進めていきたいと考えてます。 ・ただ、課題として参加者の交通手段の確保の調整ということを言われてましたので、これはぜひ支援室なり河川事務所のほうでちょっと協力していただきたい。 ・今は暫定的ですけど、そういう形で計画を見直して、より住民主体になるような形で進めていきたいと思ってます。 ・簡単ですけど、以上です。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・水上さん、ありがとうございます。 ・では、委員の皆様から、質問、ご意見等をお伺いします。いかがでしょうか。はい、平山委員、どうぞ。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・1点確認させていただきたいんですけども、リーダー的な存在がいなくてうまくいかなかったとおっしゃったことに対して、どういうふうにリーダー的な方に現場に関わってもらおうのかという、そのステップをお伺いしてもよろしいですか。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・そこが非常に難しいところで、今1つ考えているのは、実は、幼木伐採と簡易炭づくりを立命館守山中学校の方にやってもらったときに、いきなりみんなが集まったところで「リーダーシップをとってくれ」とやったんですが、結果的にうまくいかなかったと。それで今回は幼木伐採と簡易炭づくりを単独でやってみましょうということで、顧問の脇田先生と尾崎先生の2人にリーダーシップをとっていただいて、予行演習と言うと失礼ですが、スケジュールとか、いろんな仕切りをやらしてもらおうと思ってます。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・先生がリーダーであって、生徒はリーダーにはならないんですか。なってもいいかなと思ったんですが。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりますけども、実際去年もやったんですが、さすがにそこまではちょっと。最終的にはそこまで持っていくといいと思いますけども、まずは先生にやっていただいて、生徒も一緒にやるという形でやっていきたいと思います。焦ってやると、失敗というか、なかなかうまくいかない

		<p>ということを去年体感しましたので。</p>
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりました。 ・ちょっとコメントなんですけども、リーダーになる方と幼木伐採が上手な方というのはまた違うと思いますし、作業自体がうまくてもリーダーとして振る舞えるかというのはまた違うことだと思います。できれば水上さん自身が「あっ、この人、次にリーダーになってほしいな」みたいな方に目星をつけて、そういう方に手厚くステップアップ、ステップアップと言ったら失礼ですけども、リーダーとしての活動の仕方を伝授していかれるというのが現実的なのかなというふうに思いました。 ・以上です。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・平山委員、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。 ・私、さっき根木山さんのところでも「野洲川筋には集落が点在してますよね」みたいなことを言いましたが、今お話があった交通手段とかに関わってくるんですけど、そこら辺はどうですかね。支援を得るといって、ただで済む場合もあるし、金がかかる場合もあるし、いろいろあるかと思うのですが、その辺は行政との結びつきで。まあ、人数的にどうかということはあるんですけども、多分守山市さんもバスを持っておられるんですよ。そういうところをうまく使えるようにするとか、あと、今はっきりとは思いつかんですけれども、要はそういう面ではやっぱり河川事務所さん、地元自治体さんのつながりが大事だと思って。今、よく治水面で協議会をつくったりという結びつきもありますが、それは治水、防災だけでなしに、そういうつながりを地域の人にどう広げていくかという観点に立てばいろんなことが関係してくると思うので、その辺はじっくりとパイプを太くしていくといえますか、そういうところにつながっていけばいいのかなというふうに思って聞いておりました。もちろん、国あり、県あり、市町ありというところなんでね。 ・はい、矢野委員、どうぞ。
	矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・今のお話を受けましてというわけではないんですけども、私も周辺の市長さんとお会いする機会がありますので、そのときに今日伺ったレンジャーさんの活動というものをちょっと話題にさせていただいて、私も今年1年間通じて皆さんが活動されている内容を把握できましたので、委員長がおっしゃられたように、パイプを太くしてそういったものを共有していきたい。 ・その上で、その先に今お話があったような協力も可能になるかもしれませんので、我々のほうもこういった活動を共有することでこの場でうまくいったことを報告できるようにしたいと思います。よろしくお願いし

		ます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・矢野委員、ありがとうございました。今、心強いお話をいただきました。そういうトップダウン的なことも大事なんですけれども、「現場でこういうことを抱えていますよ」ということもそれぞれの組織で共有といただきますか、組織的には上に上がるというか、そういうことが必要なと思いますので、それぞれの立場で頑張りましょうということですね。はい、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。
	R 水上	<ul style="list-style-type: none"> ・実は、今年、行政との調整が非常に大変でした。今日は心強い意見をいただきましたので、ぜひ住民主体に持っていくための行政の協力もお願いしたいと思います。この場を借りて、どうぞよろしくお願ひします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・また後のパートでもどういう苦労があったかを伝えてもらったら、解決策がうまく見つかっていくのではないかという気もしますね。
	矢野	<ul style="list-style-type: none"> ・もうちょっとフランクな話ができるかもしれませんね。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・では、水上さんの年間活動の暫定版についてはここまでとさせていただきます。次、福西さん、お願いできますか。
	R 福西	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願ひします。 ・計画としましては、11月から活動させていただいて、まだ途中段階といひますか、春から秋にかけてはまだできていないというか、手探りのところがありますので、同じような内容になっています。 ・ただ、追加としまして、水辺のレジャーが始まる前の6月と12月、年に2回、応急手当普及員の上平孝洋氏による「応急手当と水難事故発見時の対応」、タイトルは仮なんですけれども、この講習会を地域住民の方を対象としてウォーターステーション琵琶館内で行う予定となっています。上平孝洋氏には事前に許可もいただいて、してくださるということで話は動いています。 ・あと、「地域住民や活動団体による清掃活動行事の企画・実行」というのが今年度はできなかったのひ、来年度は感染症が比較的落ち着いている7月中旬ごろを想定して行ひます。初回開催は10人程度を想定しているんですけども、コロナ感染症が落ち着いて、ちょっと世の中も変わったような感じがあるようでしたら、もう少し人数のほうも調整していきたいと思ひます。 ・あとは変更のほうはあまりありませんので、計画としては以上となります。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。先ほどからもありましたように、短い期間ではありますが、活動していただき、今後もそういう方向で進めていただくということですね。

		<ul style="list-style-type: none"> 委員の皆様からご意見、ご質問等ありましたら、お伺いします。いかがでしょうか。はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> 1点コメントなんですけども、2の「景観保全やマナー面から見た課題の把握」のところで、私から見てすごく大事なと思うところは、イベントや活動を企画したり実施することではなくて、そのマナーの実態を把握することだったり、川に参加者がどれぐらい親しんだのかという把握のほうがレンジャーの活動としては大事だと思うんです。なので、企画のほうが実質的には大変だと思うんですけども、成果報告としては大事なほうはどうだったのかというのをお聞きしたいので、そういうことを意識されながら活動していただけたらと思いました。 以上です。
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> はい、平山委員、ありがとうございました。 ほかにいかがでしょうか。はい、北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ご計画、ありがとうございます。 ちょっと気になってたのが、工程計画を見たときに結構「随時やります」という感じが見てはとれるんですが、レポートで毎月いただいている報告や中間報告では、日ごろから歩いて清掃活動を行ったり、マナー面での観察を把握する活動というのは「いつ、どういう活動を積み上げているか」をお伝えいただくことがポイントになってくると思うんですね。メモを手帳にとっていただいているみたいですけど、その積み上げがいかにできているかとか、声かけも挨拶を交わしている程度なのか、どんな話を住民の方としたのか、その中にどういう背景があるのかというところを私たちにを見せていただけないとご活動の実態自体が見えてこないと思うので、都度都度の報告というのを意識して日ごろの活動をつくっていただけたらいいかなというふうに思います。「中間報告のときにはこういう形の報告にしよう」とか「レポートを出すときには印象に残ったコメントを箇条書きで書き出しておこう」とか、ちょっとイメージを持ちながら日ごろの活動の蓄積をつくってもらえたらと思います。コメントです。
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> 北井委員、ありがとうございました。 ほかにいかがでしょうか。 今のお話に関連するようなことではあるんですが、住民さんと挨拶を交わす、一言二言交わす、そういう中で「住民さんが瀬田川や琵琶湖で課題に思っているところはどういう方面だろうな」とか、根掘り葉掘り聞かなくてもいいので「ごみが気になりますよね。いつも拾っておられるんですか」的のところからつかむという感覚もあっていいだろうなと思

		<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あともう一つ、小学生にライフジャケットをつけなさいよという話を言ったときに「おっちゃんは何者なん?」「おっちゃんは何してんの?」というようなことはなかったですか。
	R福西	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうことは言われなかったんですけども、ちょうどウォーターステーションの対岸のところ釣りをされてた方々なので、「あそこの建物でボランティアをさせてもらっている者なんですけども」というような、かみ砕いたような言い方で関わらせていただきました。ライフジャケットも釣り具の一つなので、もしよかったらご両親に買ってもらえたらなというふうなことは伝えさせていただきました。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の話ですけど、RAC (NPO法人川に学ぶ体験活動協議会) とかが小さい冊子「安全のためにはこういうものですよ」みたいなのをつくってあれば、それを渡しちゃうとかいうようなこともありかなと思って聞いてたんですが、むしろ小学生から、「河川レンジャーって何?」とか「ヒーロー物ではないの?」とか、突っ込みがあったほうが話がつながって面白かったのではないかと。まあ、これからいろんな人と出会って交流が広がるといいなと思っております。 ・ほかの委員の皆様、いかがでしょうか。 ・レンジャーさんお三方から暫定版として報告をいただきましたが、委員会自体は年度が替わって少したってからの開催ということになります。堅く言うと、そこで活動の承認ということになるんですけども、今、報告、そして暫定版の活動計画を出していただきましたので、こういう方向で進めていただくということについては異論のないところかとは思いますが。委員の皆様からのいろんなご意見等を参考に、また次の運営委員会での活動計画の発表にうまく反映していただければなというふうに思います。 ・事務局、活動計画の暫定版は委員会としてお話を伺ったということでもよろしいですね。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。レンジャーさんの活動の暫定版については認めていただいたということで、次年度1回目の会議まではこの計画で進めていただこうかと思えます。ありがとうございました。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。お疲れさまでした。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (1)2022年度 の年間スケジ	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、「その他」の項目で、次年度の年間スケジュールの案について事務局からお願いできますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の資料-8となります。来年度の年間スケジュールの案でございま

<p>ルール(案)</p>		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 基本的には、今年度と同じようなタイミングでの計画となっています。 • 制度運営委員会につきましては、6月ごろを第1回の目標にしています。できるだけ早め、5月下旬から6月中旬までぐらいを開催の目標に、年度明けから調整をさせていただこうと思います。中間的には10月ごろ、それから年度最後は2月下旬ごろを目標に考えております。 • あと、レンジャーミーティングを委員会に合わせるような形で3回ほど入れておりますが、これもまた適宜必要なときに増やしなうらと考へております。 • おおよそはこのようなスケジュール感となっております。以上でございます。
	<p>中谷</p>	<ul style="list-style-type: none"> • はい、ありがとうございます。年間活動計画は、今ほどご説明いただいたとおりです。 • 当然ここに肉づけされることとは思いますので、私から1つリクエストがございます。というのは、レンジャーさんとの意見交換会はもちろんですけれども、市役所さんも入られる機会があつたりするので、例えば、先ほどから出てますように、できるだけ幅広な観点から、市のどこかの部署に来ていただくときには、どういう立場でどういう権限を持ったパートが来ていただくのかとか、ある目的を持ったらそれに見合うところに来ていただくということが必要かなというふうにも思います。釈迦に説法的な話ではあるんですけど、その辺は支援室なり事務所さんのほうでもよく考へて取り組みを進めていただければと思います。 • 委員の皆様から、今の年間事業スケジュールについて何かございますか。まあ、大きくは次の1回目の運営委員会が開かれてというようなことになろうかと思ひます。 • では、一応こういふスケジュールでもって進めていただくと。コロナも収まってくればいいんですけど、そういうこともありますので、うまく考へて進めていただければと思います。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャ、○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
<p>5. その他 (2) 河川レンジャーレポートvol. 45発行について</p>	<p>中谷</p>	<ul style="list-style-type: none"> • では、次にレンジャーレポートの発行についてということをお願いできますか。
	<p>△中西</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「その他」の2番目ですけれども、先ほど水上レンジャーの活動報告の中でも触れていただきました。主には瀬田川河川清掃と瀬田川の川歩きの話載せておひまして、12月に発行したものでございます。皆様のお手元にも送らせていただいたものです。

		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、今年度最後、3月末までにもう一号発行できればということで今詰めておりますけども、できるだけ早めに仕上げてお届けしたいと思っております。 ・簡単ですが、以上でございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・こういう宣伝のツールも非常に大事なことだと思いますので、またうまくアレンジしていただいて。 ・これは大体どのあたりまで出回ってますかね。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・河川事務所では、出張所、それから、淀川や猪名川、木津川上流など、河川レンジャーがいる事務所に送らせていただいております。また、県ですとか、あとウォーターステーションのネットワークのある団体様に直接送らせていただいております。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・しつこいようですが、何遍も守山市さんのことを言いますが、さきの会合に参加された守山市の職員さんは多分レンジャーがどのようなやということを市役所の中でも一番知ることになっている部署かなというふうに思いますので、そういうところからうまく広がるように。 ・あと、地元はどうですか。中洲学区とかは行ってますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・すみません。公民館のほうには送らせてもらいましたけども、学区までは送れていません。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・どこがどうやということはないんですけど、せっかくつくるんですから、できるだけ部数の許される限り。特に市町全体に広くまくことも大事なんですけども、要は直接レンジャーさんが関わっている地域とか、そういうところについては手厚く工夫していただけるといいかなと思いますので、よろしくお願いします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (3) 傍聴者からの意見	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、傍聴の方にご発言いただく時間とさせていただきますが、いかがでしょうか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、傍聴がお一方おられました、途中で退席されましたので、ただいまは傍聴の方がいらっしゃらない状況でございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、わかりました。 ・そうしましたら、65回の運営委員会はここまでとさせていただきます、一

		且私の役目を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。
--	--	-----------------------------------

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
6. 閉会	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、本日の65回を閉じさせていただきます。次回は、予定どおり、5月下旬から6月ということですのでよろしくお願いいたします。 ・この後、10分ほど休憩を挟みまして、レンジャー様、委員の皆様との意見交換会を開催いたします。16時10分に同じアドレスでまた再開したいと思えます。 ・それでは、一旦これで閉めたいと思えます。ありがとうございました。